

【ハイポネックスニュース】

HYPONeX NEWS 45号

《令和6年 7月発行 農芸プロダクツ部》

拝啓梅雨明けが待ち遠しい季節となりましたが、皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

目下、異常気象や栽培条件の悪化、農業分野における商流の変化など目まぐるしく時代が動いていく中、弊社と致しまして皆様の生産活動の一助となるべく、今号も様々な栽培事例や推奨管理の情報をお届け致します。

是非ご一読くださいますようお願い申し上げます。

敬具

トピックス

- バイオスティミュラント資材新商品のご案内 2頁
- ブルーマックス販売再開のご案内 3頁
- 花壇苗・鉢花のオススメ高温対策資材 4頁
- 製品統合のご案内 5頁
- マイコジェルで差をつけろ & インスタのご案内 6頁
- バイオスティミュラント資材の活用でナスの生産性・秀品率が高まる事例 7頁
- バイオスティミュラント資材の活用でクリスマスに間に合うイチゴを生産する事例 8頁
- キャンペーンのご案内 9頁

ハイポネックス
テクノロジは
農業を変える！





販売中 肥料吸収促進

高濃度フルボ酸カリ
バタヨン 1L・20L
 N-P-K(%)=0-0-5
 (植物由来低分子フルボ酸36.7%)
【フルボ酸系BS】



- (用途)
- ・低暖房下の肥料吸収促進
 - ・フルボ酸による太い根増強
 - ・高い土壌微生物活性効果

- (使用方法)
- ・500~1000倍で灌注
(施用量目安1L/10a当り)
 - ・液肥併用は
3000~5000倍で混用



7月発売予定 生理障害軽減

微細藻類



相乗
×
効果

海藻



微細藻類+海藻液肥
シーウェックス 1L
 N-P-K(%)=1.2-0-6
 (海藻+微細藻類)
【海藻系BS】

- (用途)
- ・極度な高温時の着果促進
 - ・抗酸化物質によるストレス軽減
 - ・生長、開花時のストレス軽減

- (使用方法)
- ・2500~5000倍で灌注
(施用量目安200~400ml/10a当り)
 - ・250~500倍で葉面散布



ケイ酸カリ資材
シリテック 1L
 N-P-K(%)=0-0-8
 (ケイ酸22%)
【微量元素系BS】

- (用途)
- ・乾燥・高温による細胞のダメージを軽減
 - ・葉の表面をカバーして水分の維持を強化

- (使用方法)
- ・200倍で葉面散布
 - ・*pHが高いため、農薬混合は要注意

7月発売予定 高温・干ばつ対策

2020年より販売を一時中止しておりましたが、『ブルーマックス22kg（青色アジサイ用コーティング硫酸アルミニウム資材）』ですが、この度、販売を再開することになりました!!



Blue-Max™



青色アジサイ用コーティング硫酸アルミニウム資材

【特長】

- アジサイの青色の発色を促進するコーティングされた硫酸アルミニウム資材です。
- オスモコートエグザクト同様に優れたコーティング技術により灌水の影響を受けにくく、溶出が安定しています。
- コーティングされていることで、過剰施用を防ぎ、根焼けなどの被害を最小限にし、飛沫することもないため、人体への危険性も軽減します。
- 持続的に安定した溶出により、施用回数を軽減し、時間、コスト、労力の削減につながります。
- 青い色を持続させます。

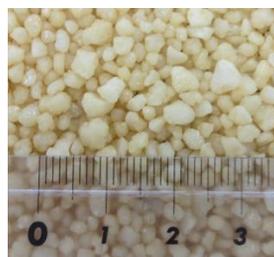
【効果持続性】

平均気温	15℃	21℃	26℃	32℃
持続期間	3～4ヶ月	2～3ヶ月	1～2ヶ月	0.5～1.5ヶ月

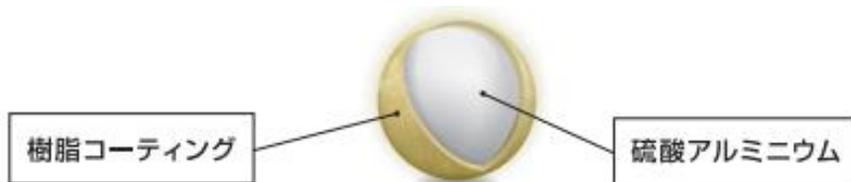
【効果持続性】

施用量	4～6g / 用土1L (※山アジサイは2～3g / 用土1L)
-----	-------------------------------------

【商品の形状】



オスモコートエグザクトの技術を使用した、コーティングされた硫酸アルミニウム。



- パッケージについては以前と変更する予定ですが、内容成分について変わらず、以前と同じようにご使用いただけます。
- 販売再開の時期や詳細については別途、正式にご案内させていただきます。

2023年の夏は近年稀にみる異常高温となり、農業生産において、ありとあらゆる品目が被害を受けました。2024年の夏も暑くなるだろうと予測される中、高温対策にフォーカスを当てて活用できる資材をご紹介します。

1. マグアンプeco 20kg【元肥】 新発売



サイズ	肥効期間	アンモニア性窒素	<溶性リンサン	内水溶性リンサン	<溶性カリ	内水溶性カリ	<溶性苦土
Mサイズ(約3mm)	約半年	5.0	35.0	4.2	5.0	3.4	16.0
MSサイズ(約2mm)	約3カ月						
Sサイズ(約1mm)	約1.5カ月						

- 原料の一部に、国内の生活排水などから回収した再生リンサンを配合しています。
- 従来のマグアンプ同様に、根酸でジワジワと肥料成分が溶けだすため、急激な高温や多灌水によっても肥料の流亡が少ないです。

■鉢物・花壇苗

- ・Mサイズ(約3mm): 2~3g/用土1L
- ・MSサイズ(約2mm): 1~2g/用土1L

2. ライゾー1kg【BS資材】



- アミノ酸による根張りの効果で、特に二次根や三次根、毛根を伸長させます。
- 高温期前にしっかりと根づくりをすることで高温によるダメージを軽減します。

施用方法:「灌注」又は「どぶ漬け」

- 花壇苗・鉢花・プラグ苗 3,000~5,000倍
- ※週1間隔で計3回使用推奨

3. グリベテン NK1L【BS資材】



- 高濃度のグリシンベタインが浸透圧調整作用を発揮し、熱ストレスによる葉焼けなどのダメージから植物を保護します。
- カルシウム、ホウ素によって株を締めます。

施用方法:「葉面散布」

- プラグ苗 1,000倍
- 花壇苗、鉢花 500~1,000倍
- ※熱ストレスを受ける2~3週間前より定期散布

製品を統合し外箱のデザインが変わりました！

新 パッケージ

旧 パッケージ



肥料成分は同じ設計のため、従来同様にお使いいただけます

プロミック錠剤			サイズ	入数	成分(%)				
					窒素	リン酸	カリ	マグネシウム	カルシウム
イチゴ用	販売終了	8-8-8	中粒(約1.5g)	約6,400粒	8	8	8	1	12.94
			小粒(約0.8g)	約12,000粒					
遅効き	代替製品	8-8-8	中粒(約1.5g)	約6,400粒					
			小粒(約0.8g)	約12,000粒					

肥効の安定性に抜群の信頼！プロミック錠剤

ポット苗や鉢物栽培にはプロミック錠剤！

1錠の重さが均一のため、鉢ごとの施用量が一定となり生育のバラつきが少なくなる『プロミック錠剤シリーズ』は発売以来、長年にわたりご愛顧いただいています。

●スタンダードタイプ

(12-12-12/8-12-10/5-10-10)

あらゆる作物に適した標準タイプです。しっかり早く効くためボリュームを出したい品目やタイミングにおすすめです。

●遅効きタイプ

(8-8-8/6-9-9)

穏やかに効きスタンダードタイプより肥効期間が長いタイプです。近年は夏の多灌水時に施用するケースも増えています。

●オキサミドタイプ

(8-25-8/7-10-15)

窒素成分は水で溶解しにくく、微生物の働きでゆっくり分解されるため緩やかに効きます。高温期のシクラメンに置いたりカーネーションの仕上げ用として使用されています。



千葉県にて1年間切花カーネーションでバイオスティミュラント資材の試験を行いました。マイコジェルの使用で養水分吸収を高め、干ばつ等のストレス環境下での耐性を付けます。当試験では初期生育に差をつけ、花上りが2~3週間早まりました。

【生産者の声】

例年よりも回転が速くなり多く切ることができた。
また初期の活着も早く初期生育での差を実感しました。

違いはマイコジェルだけ!



ライゾー+ボンバルディア+マイコジェル



ライゾー+ボンバルディア



農芸プロダクツ部Instagram始めました

お知らせ

ついに農芸プロダクツ部がInstagramを始めました。常日頃から各地へ飛び回っている弊社営業部員が、各地での活動を随時更新中！ぜひ、友達追加よろしくお願ひします！！



@HYPONEX_NOUGEIGOY



1. 概要

長崎県雲仙市にある高設イチゴ生産者の圃場において令和5年度促成イチゴの収量安定、秀品率向上を目的とした現場検証試験を実施、弊社バイオスティミュラント資材（以後B S資材と記す）のマイコジェル、ライゾー、ボンバルディア、フォスビットKを組み合わせた栽培管理で令和4年度（資材未使用）収量対比135%の好成績を収めた結果につき報告を行います。

2. 令和5年度作の傾向

当社はイチゴ生産者においては例年希にみる厳しい年で、全国的にクリスマスシーズンにイチゴが不足、価格高騰が相次ぎマスコミが騒ぐ事態となりました。今回は何故そのような事態に陥ったのか検証を行います。クリスマスケーキ用のイチゴは主に促成栽培の早生品種の第一次腋花房がよく使われますが、花房中の1番果及び2番果は30g以上とケーキ用の頭に使うと大きすぎる故、高級贈答用やスーパー等で出回る事が多いのです。その一方、3番果以降の実は小ぶりとなり大きさにして15~20g程度で、ケーキの頭に使われる事が多いのです。クリスマスケーキ用イチゴの納品のタイミングで多いのは12月19日から22日の間ではありますが、今作はこの時期にイチゴが不足したのであります。

この理由は大きく2つあると考えられます。1つ目は9月に入っても暑さが続き、定植後の活着がうまく行われず頂花房の花芽分化が遅れて頂花房の収穫が遅れ、それにより第1次腋花房の花芽分化も遅れてしまったという点であります。この点を克服するべく近年は夜冷や株冷を行って花芽分化の済んだ株を定植する動きが認められますが、こうした処理を施した場合でも今作は遅れる傾向が強かったのです。この傾向は毎年強まっている様に感じられます。2つ目は今作特に土耕栽培のイチゴにおいて顕著な傾向ではありますが、年内に殆ど雨が降らなかった割には例年並みの灌水しか行わなかった場合、更に定植直後から1か月ほど水を切る栽培を行った場合、将又、灌水量が少なすぎる割には加温を強めて年内に株のボリュームを作り切れなかった場合に花芽分化が遅れる傾向が見受けられました。

3. B S 資材の活用によるイチゴの生育状況の変化と生産者の声

クリスマスシーズンにケーキ用のイチゴを増やす方法としては、育苗期における萎黄病、炭疽病の予防は基本として、種子繁殖型品種の利用、ウイルスフリー苗の利用、点滴灌水の利用、更には夜冷短日処理、株冷、山あげ栽培を行って花芽分化の促進処理を施すなど様々な方法が考えられますが、栽培管理の観点から重要な点は生育初期段階の根づくりであります。定植時期のタイミングが9月下旬のイチゴの場合、近年の温暖化の影響で日中のみならず夜間も地温が下がらない事から、定植後の丁寧な手灌水によって、ポットの根が速やかに土壤に降りて活着していく流れを作らなければなりません。

この際に有効な資材はライゾーであります。主根のみならず、側根、毛細根の伸長と発達を進める事でソイルキャッチの期間を早める事が出来ます。更にライゾーを定期的に与える事で毛細根が連続的に伸長し続け、リン酸、カリ、微量元素の吸収力を高める強い根づくりが可能であります。更にL型アミノ酸でイチゴに直ぐに吸収されるボンバルディアで地上部を充実させ、亜リン酸加里のフォスビットKで果実の肥大を充実させていく栄養生長と生殖生長のバランスを整える栽培管理が重要であります。

ここで忘れてはいけない点は、B S 資材の活用によってイチゴの胃袋が広がり生育ステージが前進、収穫量が増えていく為、餌である肥料（液肥）も同じくして追施していく事であり、イチゴの草勢をよく観察しながら植物が求める肥培管理を行う事でクリスマスにも間に合う、又、年明けからも安定して獲れる株づくりが出来るのであります。

B S 資材を使用した生産者の意見としては、「高温でソイルキャッチが遅れたのにも拘わらず生育ステージが速くイチゴの花房展開が速い、成り疲れが少なく花房が次々に展開して収量が落ちないのは驚き、作り難い年であったが、前作に比べて135%の増収は信じられない、3月以降に軟化して処分するイチゴが少ないので安定して出荷出来る、4月以降も軟弱徒長せずに草勢が衰安定している点は本当に凄い」との回答を受けております。

4. 産地での使用時期、頻度、濃度などの具体的な施用事例について

（但し栽培環境や圃場条件により投下量の補正が必要）

マイコジェル：定植前のポット1000倍灌水、定植直後根回し水2000倍灌水
ライゾー：定植から1週間、灌水の度に2000倍で根回し水灌水

定植2週間目以降、毎週100～200g／反チューブ灌注

（但し11月と2月は毎週300g反チューブ灌注）

ボンバルディア：定植2週間目以降、毎週1L～3L／反チューブ灌注

フォスビットK：定植2週間目以降、毎週1L～2L／反チューブ灌注

※ライゾー、ボンバルディア、フォスビットKは混用して一緒に流すと効果的

1週間の内で通常液肥→2日後→B S 3種類と交互に与えると更に良い。

■九州ナス生産者の10a当たりの収量5箇年の推移（令和3年度より当社バイオスティミュラント資材を使用開始）

【篤農家 反収】	単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
令和4年度（使用）	収量(kg)	860	1882	2336	1558	1938	2102	3464	3683	3808	3632	626	25889
令和3年度（使用）		922	2708	2022	1568	2544	1784	3284	3955	3864	3725	365	26741
令和2年度（未使用）		638	2187	1854	1656	1479	2073	2402	2944	3004	2567	0	20804
令和元年度（未使用）		638	2238	1778	1773	1539	2452	2636	3289	4075	2529	50	22997
平成30年度（未使用）		17	891	1686	1990	1514	2395	3441	3004	3437	2464	665	21504

【促成ナス生産者の年度別10a当たりの収量比較】



1. 概要

熊本県玉名市にあるナス生産者の圃場において令和3年度より促成ナスの収量安定、秀品率向上を目的とした現場検証試験を実施、弊社バイオスティミュラント資材（以後BS資材と記す）のマイコジェル、ライゾー、ボンバルディア、フォスピットKを組み合わせた栽培管理で令和2年度（資材未使用）収量対比128%（令和3年度）、124%（令和4年度）の好成績を収め、令和5年度も更なる増収に向けて3ヵ年計画で資材検証を実施中であります。

2. 各々BS資材の特長と作用メカニズム

マイコジェルは高濃度の菌根菌資材で根中に菌が定着し、土壌中に菌糸を展開し根を守る資材でネコブセンチュウや青枯れ病菌などに対する抵抗力を高める事が可能であります。ライゾーは毛細根の発育を連続誘導する発根資材、一般的な発根材はクエン酸や有機酸系のものが多く、主根を強く形成する効果を有しますが、主根は水と窒素、毛細根はリン酸、加里、微量元素の吸収に特化している。毛細根は着花負担や異常気象などで枯死しやすいが、ナスの果実肥大期にリン酸加里の液肥を施用しても毛細根が枯死していると吸収できないゆえ、結果的に土壌に残り、塩基バランスが崩れて連作障害の一要因となります。ライゾーを施用する事で毛細根が枯死し難くなると、常時リン酸加里や微量元素が吸える形となり土壌残肥が残り難くなる他、果実肥大に向けたリン酸加里の供給割合を高める事が可能である。ボンバルディアの最たる特長はフルボ酸23%含有による残肥溶解作用である。特にリン酸は土壌中でアルミニウムと結合してリン酸アルミニウムの形で吸着していますが、この状態はかなり強固で資材によって剥がす事は一般に困難と言われております。しかしながらボンバルディアに含まれるフルボ酸は高濃度であり特異的にリン酸溶解効果が認められる事から土壌アルミニウムからリン酸を剥がしフルボ酸アルミニウムの形で土に保持されるゆえ、結果的にリン酸が剥がれて植物の根が吸収できるようになります。また、ボンバルディアのアミノ酸はL型であり、分子量が小さい事から吸収効率が極めて高く、特に低温期の草勢維持には極めて有効な栄養生長軸の資材であります。フォスピットKは高純度の亜リン酸資材であります。亜リン酸は土壌に吸着されにくいリン酸成分であり土壌のアルミニウムと結合しにくい事から土壌にリン酸が保持されにくいのです。ライゾーと組み合わせるとフォスピットKを使用すると毛細根の誘導を図りつつ亜リン酸を効かせることが出来、花や果実の先端までリン酸加里を供給する事の出来る生殖生長軸の資材であります。

3. BS資材の活用による促成ナスの生育状況の変化と生産者の声

上記図参照。上記図は平成30年度から令和4年度にかけて5年間の生産者の反収であります。平成30年度から令和2年度がBS資材未使用、令和3年度から4年度が上記4種類の弊社BS資材を使用した結果であります。単為結果ナスの栽培において重要な事は生育初期段階の根づくりであります。生殖生長に傾きやすい品種特性を見越して着果負担に耐え得る草勢の維持、体づくりを定植1から2カ月の間にしっかり行う事が肝要といえます。まずは1月の収量を見比べてください。厳寒期であるのにも拘わらず増収している事がわかります。これは生育初期からライゾーによる根づくりを行った成果であり、毛細根がよく働いている事を示しています。次に3月の収量であります。2月中旬以降、低温短日条件から高温長日条件に移行していくタイミングで当品種は弱りやすいのですが、L型アミノ酸でナスに直ぐに吸収されるボンバルディアを活用する事により低温期に未消化窒素を残さない栽培管理を行い、根を傷ませない事で速やかな3月の増収を実現しています。最後に生育終盤の6月から7月であります。これまでの増収で株が疲れているのにも拘わらず7月まで収穫出来ている点は非常に興味深いです。ライゾーによって健康な根を維持しつつ、ボンバルディアとフォスピットKにより栄養生長と生殖生長のバランスを整えていく栽培管理の成果が生育終盤にもはっきり表れている結果といえます。こうした作を通した収量変化を見比べる事で環境ストレスに対するナス自体の免疫力向上、生命活動の健全化、生育状態の前進を認め得る。生産者の意見としては、「収量が落ちる事なく最後まで収量が落ちない事に驚いている、2年連続して120%を超える増収のみならず、秀品率が際立って上がっている状況は今まで経験した事がない、根張りの良さが際立っており、草勢が衰えない姿は圧巻」との回答を受けております。

4. 産地での使用時期、頻度、濃度などの具体的な施用事例について（但し栽培環境や圃場条件により投下量の補正が必要）

マイコジェル：定植前のポット1000倍灌水、定植直後根回し水2000倍灌水

ライゾー：定植から1週間、灌水の度に2000倍で根回し水灌水

定植2週間目以降、毎週200g/反チューブ灌注（但し11月と2月は毎週300g反チューブ灌注）

ボンバルディア：定植2週間目以降、毎週2L~3L/反チューブ灌注

フォスピットK：定植2週間目以降、毎週1L~2L/反チューブ灌注

※ライゾー、ボンバルディア、フォスピットKは混用して一緒に流すと効果的

1週間の内で通常液肥→2日後→BS3種類と交互に与えると更に良い。

<キャンペーン期間>

2024年7月16日(月)～2024年9月30日(月)出荷分まで

商品の添付サービスを期間中は実施！

詳しい情報は、販売代理店までお問合せください。

今回一部ご紹介は、物流費高騰の中、均一廉価錠剤肥料『グローアー錠剤』導入に



Lサイズ	Mサイズ	Sサイズ
約2.5g	約2g	約0.8g
直径16mm	13mm	9mm

グローアー錠剤 9.3kg

L (2.5g) : 約3600錠/箱

M (2.0g) : 約4,500錠/箱

S (0.8g) : 約11,400錠/箱

2ケース元払

*サイズ取り合せ可
(通常5ケース元払)

◆内容に関してより詳しいことは下記までお問合せください◆

株式会社ハイポネックスジャパン

農芸プロダクツ部

【本社】〒532-0003 大阪市淀川区宮原四丁目1番9号 新大阪フロントビル11階

TEL : 06-6396-0801 FAX : 06-6396-1166

【東京支店】〒140-0001 東京都品川区北品川三丁目6番9号

TEL : 03-5781-2590 FAX : 03-5781-2591